2023年度
自己評価表（健生キッズベア）

（職員用）

保育士：5名、子育て支援員：3名、事務員：1名　調理員：1名、看護師：1名　　計11名

※各職員の職種で実際に担当する内容にのみ回答とした。

評価日：令和6年4月22日

作成者名：竹中舞雪

第１　保育所の理念、基本方針

評　価　項　目	評価	人数
保育所の保育理念（保育目標）や基本方針を読んだことがありますか。	値	人数
A）保育所の保育理念（保育目標）や基本方針を読んだことがある。	A	11
B）保育所の保育理念（保育目標）や基本方針を読んだことがない。	B	0
	未回答	0
保育所の保育理念（保育目標）や基本方針を理解していますか。		
A）保育所の保育理念（保育目標）や基本方針を理解している。	A	10
B）保育所の保育理念（保育目標）や基本方針を理解していない。	B	1
	未回答	0

第２　保育所の運営管理

評　価　項　目	評価	
保育所における自分自身の役割や責任の範囲などを理解していますか。	値	人数
A）自分自身の役割や責任の範囲を理解している。	A	11
B）自分自身の役割や責任の範囲を理解していない。	B	0
	未回答	0
個人情報の保護や守秘義務に関して理解していますか。		
A）個人情報の保護や守秘義務に関して理解している。	A	11
B）個人情報の保護や守秘義務に関して理解していない。	B	0
	未回答	0
職員会議などに参加し、その会議の内容について理解してますか。		
A）職員会議などに参加し、会議の内容についても理解できている。	A	5
B）職員会議などに参加していない、または会議の内容を理解していない。	B	5
	未回答	1

第３　保育の内容

評　価　項　目	評価	
子どもの発育や発達の状態、家庭での食事、睡眠などの状態について保護者から情報を得るようにしていますか。	値	人数
A）保護者から情報を得るようにしている。	A	10
B）保護者から情報を得ていない。	B	0
	未回答	1
登園時、子どもの健康観察（機嫌、顔色など）を行っていますか。		
A）子どもの健康観察を行っている。	A	10
B）子どもの健康観察を行っていない。	B	0
	未回答	1
保育中、子どもの様子（機嫌や食欲など）の把握していますか。		
A）子どもの様子を把握している。	A	10
B）子どもの様子を把握していない。	B	0
	未回答	1

一人ひとりの子どもの生理的欲求（食欲や睡眠など）が満たされるよう配慮していますか。		
A）生理的欲求が満たされるよう配慮している。	A	10
B）生理的欲求が満たされるよう配慮していない。	B	0
	未回答	1
登園時、子どもの状況に応じて、抱いたり、優しく声を掛けたりしていますか。		
A）抱いたり、優しく声を掛けている。	A	10
B）抱いたり、優しく声を掛けていない。	B	0
	未回答	1
子どもとの温かなやり取りやスキンシップを心がけていますか。		
A）温かなやり取りやスキンシップを心がけている。	A	10
B）温かなやり取りやスキンシップを心がけていない。	B	0
	未回答	1

第３　保育の内容

評　価　項　目	評価	
子どもが、いつでも安心して休息できる雰囲気づくりを心がけていますか。	値	人数
A）子どもが、いつでも安心して休息できる雰囲気づくりを心がけている。	A	10
B）子どもが、いつでも安心して休息できる雰囲気づくりを心がけていない。	B	0
	未回答	1
子ども一人ひとりに分かりやすく温かな言葉で、おだやかに話しかけていますか。		
A）子ども一人ひとりに分かりやすく温かな言葉で、おだやかに話しかけている。	A	9
B）子ども一人ひとりに分かりやすく温かな言葉で、おだやかに話しかけていない。	B	1
	未回答	1
一人ひとりの子どもが、伸び伸びと遊べるよう見守っていますか。		
A）一人ひとりの子どもが、伸び伸びと遊べるよう見守っている。	A	9
B）一人ひとりの子どもが、伸び伸びと遊べるよう見守っていない。	B	1
	未回答	1
いろいろな遊びの中で、全身を使って体を動かすことができるよう配慮していますか。		
A）いろいろな遊びの中で、全身を使って体を動かすことができるよう配慮している。	A	10
B）いろいろな遊びの中で、全身を使って体を動かすことができるよう配慮していない。	B	0
	未回答	1
戸外（公園や広場など）でのいろいろな遊びを意欲的に楽しむことができる機会を設けていますか。		
A）戸外（公園や広場など）でのいろいろな遊びを意欲的に楽しむことができる機会を設けている。	A	10
B）戸外（公園や広場など）でのいろいろな遊びを意欲的に楽しむことができる機会を設けていない。	B	0
	未回答	1
いろいろな活動に親しみ、保育者や友達と楽しんで遊ぶことができるよう工夫していますか。		
A）いろいろな活動に親しみ、保育者や友達と楽しんで遊ぶことができるよう工夫している。	A	10
B）いろいろな活動に親しみ、保育者や友達と楽しんで遊ぶことができるよう工夫していない。	B	0
	未回答	1
衣類の着脱や排泄などを自分でできるよう、子どもの発達に応じて、丁寧に優しく援助していますか。		
A）衣類の着脱や排泄などを自分でできるよう、子どもの発達に応じて、丁寧に優しく援助している。	A	10
B）衣類の着脱や排泄などを自分でできるよう、子どもの発達に応じて、丁寧に優しく援助していない。	B	0
	未回答	1

いろいろな遊びや活動の中で、子どもが自分なりに考えて行動できるよう配慮していますか。		
A）いろいろな遊びや活動の中で、子どもが自分なりに考えて行動できるよう配慮している。	A	10
B）いろいろな遊びや活動の中で、子どもが自分なりに考えて行動できるよう配慮していない。	B	0
	未回答	1
子どもが、自分でできることは自分でしようとする意欲や姿勢を十分に見守っていますか。		
A）子どもが、自分でできることは自分でしようとする意欲や姿勢を十分に見守っている。	A	9
B）子どもが、自分でできることは自分でしようとする意欲や姿勢を十分に見守っていない。	B	1
	未回答	1
子どもが、自分でできたという充実感や達成感を味わうことができるような活動を取り入れていますか。		
A）子どもが、自分でできたという充実感や達成感を味わうことができるような活動を取り入れている。	A	8
B）子どもが、自分でできたという充実感や達成感を味わうことができるような活動を取り入れていない。	B	2
	未回答	1
子どもが、物事には良いことや悪いことがあることに気付いていくことができるよう援助していますか。		
A）子どもが、物事には良いことや悪いことがあることに気付いていくことができるよう援助している。	A	9
B）子どもが、物事には良いことや悪いことがあることに気付いていくことができるよう援助していない。	B	1
	未回答	1
子どもが、全身を介して直接自然と触れ合う体験をする機会を設けていますか。		
A）子どもが、全身を介して直接自然と触れ合う体験をする機会を設けている。	A	6
B）子どもが、全身を介して直接自然と触れ合う体験をする機会を設けていない。	B	4
	未回答	1
子どもが、自然に対する驚き、自然の美しさに感動する気持ちを抱かせるような援助をしていますか。		
A）子どもが、自然に対する驚きや、自然の美しさに感動する気持ちを抱かせるような援助をしている。	A	9
B）子どもが、自然に対する驚きや、自然の美しさに感動する気持ちを抱かせるような援助をしていない。	B	1
	未回答	1
子どもが、いろいろなものに触れながら、その性質や仕組みに興味が持てるよう配慮していますか。		
A）子どもが、いろいろなものに触れながら、その性質や仕組みに興味が持てるよう配慮している。	A	8
B）子どもが、いろいろなものに触れながら、その性質や仕組みに興味が持てるよう配慮していない。	B	2
	未回答	1

第３　保育の内容

評　価　項　目	評価	
子どもの発達や理解力などに合わせた言葉を使うよう心がけていますか。	値	人数
A）子どもの発達や理解力などに合わせた言葉を使うよう心がけている。	A	11
B）子どもの発達や理解力などに合わせた言葉を使うよう心がけていない。	B	0
	未回答	0
子どもの表情や姿をよく観察し、その場に適した言葉がけをするよう心がけていますか。		
A）子どもの表情や姿をよく観察し、その場に適した言葉がけをするよう心がけている。	A	11
B）子どもの表情や姿をよく観察し、その場に適した言葉がけをするよう心がけていない。	B	0
	未回答	0
子どもが、見たり、考えたりしたことなどを、自分なりに言葉で表現しようとするよう援助していますか。		
A）子どもが、見たり、考えたりしたことなどを、自分なりに言葉で表現しようとするよう援助している。	A	11
B）子どもが、見たり、考えたりしたことなどを、自分なりに言葉で表現しようとするよう援助していない。	B	0
	未回答	0

子どもが話しているときに、視線を合わせて、最後までゆったりと聞くよう心がけていますか。		
A）子どもが話しているときに、視線を合わせて、最後までゆったりと聞くよう心がけている。	A	11
B）子どもが話しているときに、視線を合わせて、最後までゆったりと聞くよう心がけていない。	B	0
	未回答	0
子どもの気持ちに寄り添いながら疑問や質問に答えたり、一緒に考えるよう心がけていますか。		
A）子どもの気持ちに寄り添いながら疑問や質問に答えたり、一緒に考えるよう心がけている。	A	11
B）子どもの気持ちに寄り添いながら疑問や質問に答えたり、一緒に考えるよう心がけていない。	B	0
	未回答	0
子どもに親しみを持って挨拶したり、子ども自ら挨拶しようとする機会や雰囲気を作るよう心がけていますか。		
A）子どもに親しみを持って挨拶したり、子ども自ら挨拶しようとする機会や雰囲気を作るよう心がけている。	A	11
B）子どもに親しみを持って挨拶したり、子ども自ら挨拶しようとする機会や雰囲気を作るよう心がけていない。	B	0
	未回答	0
絵本の読み聞かせなどを通して、言葉への興味や関心を育てるよう心がけていますか。		
A）絵本の読み聞かせなどを通して、言葉への興味や関心を育てるよう心がけている。	A	10
B）絵本の読み聞かせなどを通して、言葉への興味や関心を育てるよう心がけていない。	B	0
	未回答	1
子どもが、歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりして、表現の楽しさに気付くよう配慮していますか。		
A）子どもが、歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりして、表現の楽しさに気付くよう配慮している。	A	10
B）子どもが、歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりして、表現の楽しさに気付くよう配慮していない。	B	0
	未回答	1
子どもが、感じたことや考えたことなどを音や動きで表現できるよう工夫していますか。		
A）子どもが、感じたことや考えたことなどを音や動きで表現できるよう工夫している。	A	9
B）子どもが、感じたことや考えたことなどを音や動きで表現できるよう工夫していない。	B	1
	未回答	1
子どもの表現を受けとめ、共感し、子どもが表現することの楽しさを味わえるよう配慮していますか。		
A）子どもの表現を受けとめ、共感し、子どもが表現することの楽しさを味わえるよう配慮している。	A	10
B）子どもの表現を受けとめ、共感し、子どもが表現することの楽しさを味わえるよう配慮していない。	B	0
	未回答	1
子どもの表現を、子どもの内面の表れとして理解しようと努めていますか。		
A）子どもの表現を、子どもの内面の表れとして理解しようと努めている。	A	10
B）子どもの表現を、子どもの内面の表れとして理解しようと努めていない。	B	0
	未回答	1
一人ひとりの子どもの心身の発達や活動の実態を踏まえた保育を行うよう配慮していますか。		
A）一人ひとりの子どもの心身の発達や活動の実態を踏まえた保育を行うよう配慮している。	A	9
B）一人ひとりの子どもの心身の発達や活動の実態を踏まえた保育を行うよう配慮していない。	B	1
	未回答	1
一人ひとりの子どものその時々の気持ちを受けとめて保育を行うよう配慮していますか。		
A）一人ひとりの子どものその時々の気持ちを受けとめて保育を行うよう配慮している。	A	10
B）一人ひとりの子どものその時々の気持ちを受けとめて保育を行うよう配慮していない。	B	0
	未回答	1
一人ひとりの子どもが、主体的に活動し、意欲をもって活動できるよう配慮していますか。		
A）一人ひとりの子どもが、主体的に活動し、意欲をもって活動できるよう配慮している。	A	10
B）一人ひとりの子どもが、主体的に活動し、意欲をもって活動できるよう配慮していない。	B	0
	未回答	1

第３　保育の内容

評　価　項　目	評価	
一人ひとりの乳児の発育や発達の状態をよく観察したうえで、常に体の状態を細かく観察していますか。	値	人数
A）一人ひとりの子どもの発育や発達の状態をよく観察したうえで、常に体の状態を細かく観察している。	A	10
B）一人ひとりの子どもの発育や発達の状態をよく観察したうえで、常に体の状態を細かく観察していない。	B	0
	未回答	1
乳児のしぐさや声を介して発する欲求を察知し、タイミングよく応答していますか。		
A）乳児のしぐさや声を介して発する欲求を察知し、タイミングよく応答している。	A	7
B）乳児のしぐさや声を介して発する欲求を察知し、タイミングよく応答していない。	B	2
	未回答	2
乳児をあやしたり、抱いたりして、乳児が人に触れられて心地よいと感じる関わりをしていますか。		
A）乳児をあやしたり、抱いたりして、乳児が人に触れられて心地よいと感じる関わりをしている。	A	7
B）乳児をあやしたり、抱いたりして、乳児が人に触れられて心地よいと感じる関わりをしていない。	B	2
	未回答	2
１～２歳児の基本的な生活習慣の習得については、一人ひとりの子どもの発達過程に応じて行っていますか。		
A）１～２歳児の基本的な生活習慣の習得については、一人ひとりの子どもの発達過程に応じて行っている。	A	9
B）１～２歳児の基本的な生活習慣の習得については、一人ひとりの子どもの発達過程に応じて行っていない。	B	1
	未回答	1
１～２歳児が、楽しい雰囲気の中で、自分で食事をしようとする気持ちを大切にしていますか。		
A）１～２歳児が、楽しい雰囲気の中で、自分で食事をしようとする気持ちを大切にしている。	A	10
B）１～２歳児が、楽しい雰囲気の中で、自分で食事をしようとする気持ちを大切にしていない。	B	0
	未回答	1
１～２歳児が、ゆったりとした気持ちで自分から便器に座ったり排泄したりできるよう配慮していますか。		
A）１～２歳児が、ゆったりとした気持ちで自分から便器に座ったり排泄したりできるよう配慮している。	A	10
B）１～２歳児が、ゆったりとした気持ちで自分から便器に座ったり排泄したりできるよう配慮していない。	B	0
	未回答	1
１～２歳児の衣類の着脱にあたって、丁寧にやり方を教え、自分でしようとする気持ちを尊重していますか。		
A）１～２歳児の衣類の着脱にあたって、丁寧にやり方を教え、自分でしようとする気持ちを尊重している。	A	10
B）１～２歳児の衣類の着脱にあたって、丁寧にやり方を教え、自分でしようとする気持ちを尊重していない。	B	0
	未回答	1
１～２歳児の子どもの意欲や自分でやりたいという気持ちを尊重しながら、適切な援助を行っていますか。		
A）１～２歳児の子どもの意欲や自分でやりたいという気持ちを尊重しながら、適切な援助を行っている。	A	10
B）１～２歳児の子どもの意欲や自分でやりたいという気持ちを尊重しながら、適切な援助を行っていない。	B	0
	未回答	1
３～５歳児が、生活に必要な習慣や態度を身に付け、適切な行動を選択できるよう配慮していますか。		
A）３～５歳児が、生活に必要な習慣や態度を身に付け、適切な行動を選択できるよう配慮している。	A	
B）３～５歳児が、生活に必要な習慣や態度を身に付け、適切な行動を選択できるよう配慮していない。	B	
	未回答	
３～５歳児が、決まりがあることの大切さに気付き、自ら判断して行動できるよう配慮していますか。		
A）３～５歳児が、決まりがあることの大切さに気付き、自ら判断して行動できるよう配慮している。	A	
B）３～５歳児が、決まりがあることの大切さに気付き、自ら判断して行動できるよう配慮していない。	B	
	未回答	
３～５歳児が、感じたことや想像したことなどを表現できるよう、様々な環境の設定に留意していますか。		
A）３～５歳児が、感じたことや想像したことなどを表現できるよう、様々な環境の設定に留意している。	A	
B）３～５歳児が、感じたことや想像したことなどを表現できるよう、様々な環境の設定に留意していない。	B	
	未回答	

３～５歳児にとって、保育所の保育が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに留意していますか。		
A）３～５歳児にとって、保育所の保育が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに留意している。	A	
B）３～５歳児にとって、保育所の保育が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに留意していない。	B	
	未回答	
障害のある子どもがいる場合、その子どもの特性に合わせた個別支援のための計画を立てていますか。		
A）障害のある子どもの特性に合わせた個別支援のための計画を立てている。	A	5
B）障害のある子どもの特性に合わせた個別支援のための計画を立てていない。	B	4
	未回答	2
障害のある子どもがいる場合、その子どもの保育に必要な知識を得るよう努めていますか。		
A）障害のある子どもの保育に必要な知識を得るよう努めている。	A	10
B）障害のある子どの保育に必要な知識を得るよう努めていない。	B	0
	未回答	1

第４　保育の計画及び評価

評　価　項　目	評価	
保育所の保育課程を理解していますか。	値	人数
A）園の保育課程を理解している。	A	9
B）園の保育課程を理解していない。	B	1
	未回答	1
指導計画を作成する際、保育課程に基づいて作成していますか。		
A）指導計画を作成する際、保育課程に基づいて作成している。	A	5
B）指導計画を作成する際、保育課程に基づいて作成していない。	B	3
	未回答	3
指導計画を作成する際、長期的な指導計画と短期的な指導計画を作成していますか。		
A）指導計画を作成する際、長期的な指導計画と短期的な指導計画を作成している。	A	4
B）指導計画を作成する際、長期的な指導計画と短期的な指導計画を作成していない。	B	4
	未回答	3
指導計画を作成する際、一人ひとりの子どもの状態を踏まえ、個別的に作成していますか。		
A）指導計画を作成する際、一人ひとりの子どもの状態を踏まえ、個別的に作成している。	A	4
B）指導計画を作成する際、一人ひとりの子どもの状態を踏まえ、個別的に作成していない。	B	4
	未回答	3
指導計画に子どもの発達過程などを見通した具体的な「ねらい」と「内容」を設定していますか。		
A）指導計画に子どもの発達過程などを見通した考慮した具体的な「ねらい」と「内容」を設定している。	A	5
B）指導計画に子どもの発達過程などを見通した具体的な「ねらい」と「内容」を設定していない。	B	3
	未回答	3
指導計画に子どもの活動の展開に合わせた援助の仕方が具体的に書き込まれていますか。		
A）指導計画に子どもの活動の展開に合わせた援助の仕方が具体的に書き込まれている。	A	5
B）指導計画に子どもの活動の展開に合わせた援助の仕方が具体的に書き込まれていない。	B	3
	未回答	3
子どもの発達、興味、関心に基づいて指導計画を見直し、次の指導計画の作成に生かしていますか。		
A）子どもの発達、興味、関心に基づいて指導計画を見直し、次の指導計画の作成に生かしている。	A	5
B）子どもの発達、興味、関心に基づいて指導計画を見直し、次の指導計画の作成に生かしていない。	B	3
	未回答	3

自身の保育を振り返り、反省や評価を行い、次の指導計画の作成に生かしていますか。		
A）自身の保育を振り返り、反省や評価を行い、次の指導計画の作成に生かしている。	A	7
B）自身の保育を振り返り、反省や評価を行い、次の指導計画の作成に生かしていない。	B	2
	未回答	2

第５－１　健康及び安全（子どもの健康支援）

評　価　項　目	評価	
子どもの日々の健康状態を把握し、一人ひとりの保育に生かしていますか。	値	人数
A）子どもの日々の健康状態を把握し、一人ひとりの保育に生かしている。	A	10
B）子どもの日々の健康状態を把握し、一人ひとりの保育に生かしていない。	B	0
	未回答	1
子どもの健康診断の結果などから、子どもの発育状況を把握し、一人ひとりの保育に生かしていますか。		
A）子どもの健康診断の結果などから、子どもの発育状況を把握し、一人ひとりの保育に生かしている。	A	7
B）子どもの健康診断の結果などから、子どもの発育状況を把握し、一人ひとりの保育に生かしていない。	B	2
	未回答	2
子どもの健康診断の結果などを、他の職員と共有していますか。		
A）子どもの健康診断の結果などを、他の職員と共有している。	A	7
B）子どもの健康診断の結果などを、他の職員と共有していない。	B	2
	未回答	2
感染症に対する園の方針などを理解していますか。		
A）感染症に対する園の対応方針などを理解している。	A	9
B）感染症に対する園の対応方針などを理解していない。	B	1
	未回答	1
感染症に関する知識を持ち、その症状や流行時期などを把握していますか。		
A）感染症に関する知識を持ち、その症状や流行時期などを把握している。	A	9
B）感染症に関する知識を持ち、その症状や流行時期などを把握していない。	B	1
	未回答	1

第５－１　健康及び安全（子どもの健康支援）

評　価　項　目	評価	
一人ひとりの子どもの予防接種歴や感染症の罹患歴を把握していますか。	値	人数
A）一人ひとりの子どもの予防接種歴や感染症の罹患歴を把握している。	A	3
B）一人ひとりの子どもの予防接種歴や感染症の罹患歴を把握していない。	B	6
	未回答	2
保育中に、感染症の疑いのある子どもを発見した際、他の子どもと接触することのないよう配慮していますか。		
A）保育中に、感染症の疑いのある子どもを発見した際、他の子どもと接触することのないよう配慮している。	A	10
B）保育中に、感染症の疑いのある子どもを発見した際、他の子どもと接触することのないよう配慮していない。	B	0
	未回答	1
保護者から与薬の要請を受ける場合や子どもに与薬する場合の対応方法を理解していますか。		
A）保護者から与薬の要請を受ける場合や子どもに与薬する場合の対応方法を理解している。	A	9
B）保護者から与薬の要請を受ける場合や子どもに与薬する場合の対応方法を理解していない。	B	1
	未回答	1

慢性疾患を持つ子どもがいる場合、その子どもの保育に必要な知識を得るよう努めていますか。		
A）慢性疾患を持つ子どもがいる場合、その子どもの保育に必要な知識を得るよう努めている。	A	9
B）慢性疾患を持つ子どもがいる場合、その子どもの保育に必要な知識を得るよう努めていない。	B	1
	未回答	1
午睡中、子どもの顔色や呼吸の状態をきめ細かく観察していますか。		
A）午睡中、子どもの顔色や呼吸の状態をきめ細かく観察している。	A	10
B）午睡中、子どもの顔色や呼吸の状態をきめ細かく観察していない。	B	0
	未回答	1

第５－２　健康及び安全（環境及び衛生管理）

評　価　項　目	評価	
衛生管理に対する園の方針などを理解していますか。	値	人数
A）衛生管理に対する園の対応方針などを理解している。	A	11
B）衛生管理に対する園の対応方針などを理解していない。	B	0
	未回答	0
保育に従事する者として、服装や身支度に配慮し、自らの健康と清潔を常に心がけていますか。		
A）保育に従事する者として、服装や身支度に配慮し、自らの健康と清潔を常に心がけている。	A	10
B）保育に従事する者として、服装や身支度に配慮し、自らの健康と清潔を常に心がけていない。	B	1
	未回答	0
子どもが活動しやすいように、保育室内の温度や湿度に配慮していますか。		
A）子どもが活動しやすいように、保育室内の温度や湿度に配慮している。	A	10
B）子どもが活動しやすいように、保育室内の温度や湿度に配慮していない。	B	0
	未回答	1
保育室、トイレなどを適宜清掃し、常に清潔を保つようにしていますか。		
A）保育室、トイレなどを適宜清掃し、常に清潔を保つようにしている。	A	9
B）保育室、トイレなどを適宜清掃し、常に清潔を保つようにしていない。	B	1
	未回答	1
子どもが使用する玩具などを適宜消毒し、常に清潔を保つようにしていますか。		
A）子どもが使用する玩具などを適宜消毒し、常に清潔を保つようにしている。	A	9
B）子どもが使用する玩具などを適宜消毒し、常に清潔を保つようにしていない。	B	1
	未回答	1
おむつの交換や嘔吐物などの処理の際、手洗いや使い捨て手袋の使用など、衛生に配慮していますか。		
A）おむつの交換や嘔吐物の処理などの際、手洗いや使い捨て手袋の使用など、衛生に配慮している。	A	10
B）おむつの交換や嘔吐物の処理などの際、手洗いや使い捨て手袋の使用など、衛生に配慮していない。	B	1
	未回答	0

第５－３　健康及び安全（事故防止及び安全管理）

評　価　項　目	評価	
事故防止や安全管理に対する園の方針などを理解していますか。	値	人数
A）事故防止や安全管理に対する園の対応方針などを理解している。	A	10
B）事故防止や安全管理に対する園の対応方針などを理解していない。	B	1
	未回答	0
園内の設備、玩具、用具などを定期的に点検していますか。		
A）園内の設備、玩具、用具などを定期的に点検している。	A	9
B）園内の設備、玩具、用具などを定期的に点検していない。	B	1
	未回答	1
日常的に利用する散歩経路や公園などの異常や危険性などを定期的に点検していますか。		
A）日常的に利用する散歩経路や公園などの異常や危険性などを定期的に点検している。	A	5
B）日常的に利用する散歩経路や公園などの異常や危険性などを定期的に点検していない。	B	5
	未回答	1
事故が発生した場合の対応方法を理解していますか。		
A）事故が発生した場合の対応方法を理解している。	A	10
B）事故が発生した場合の対応方法を理解していない。	B	0
	未回答	1
乳児に起こりやすい事故やその特徴を把握していますか。		
A）乳児に起こりやすい事故やその特徴を把握している。	A	10
B）乳児に起こりやすい事故やその特徴を把握していない。	B	0
	未回答	1
１～２歳児に起こりやすい事故やその特徴を把握していますか。		
A）１～２歳児に起こりやすい事故やその特徴を把握している。	A	10
B）１～２歳児に起こりやすい事故やその特徴を把握していない。	B	0
	未回答	1
災害に対する園の方針などを理解していますか。		
A）災害に対する園の対応方針などを理解している。	A	9
B）災害に対する園の対応方針などを理解していない。	B	2
	未回答	0
災害が発生した場合の対応方法を理解していますか。		
A）災害が発生した場合の対応方法を理解している。	A	9
B）災害が発生した場合の対応方法を理解していない。	B	2
	未回答	0

第５－４　健康及び安全（食育の推進）

評　価　項　目	評価	
食事が保育の内容の一環であり、食育として位置づけられていることを理解していますか。	値	人数
A）食事が保育の内容の一環であり、食育として位置づけられていることを理解している。	A	11
B）食事が保育の内容の一環であり、食育として位置づけられていることを理解していない。	B	0
	未回答	0
子どもが落ち着いて食事やおやつを楽しめるよう配慮していますか。		
A）子どもが落ち着いて食事やおやつを楽しめるよう配慮している。	A	10
B）子どもが落ち着いて食事やおやつを楽しめるよう配慮していない。	B	1
	未回答	0

自身が感謝の気持ちを持って食事をするよう努めていますか。		
A）自身が感謝の気持ちを持って食事をするよう努めている。	A	11
B）自身が感謝の気持ちを持って食事をするよう努めていない。	B	0
	未回答	0
食事の際、子ども同士が会話をするなど、楽しんで食べることができる雰囲気づくりに配慮していますか。		
A）食事の際、子ども同士が会話をするなど、楽しんで食べることができる雰囲気づくりに配慮している。	A	10
B）食事の際、子ども同士が会話をするなど、楽しんで食べることができる雰囲気づくりに配慮していない。	B	1
	未回答	0
子どもが、食材や調理をする人への感謝の気持ちが育つよう配慮していますか。		
A）子どもが、食材や調理をする人への感謝の気持ちが育つよう配慮している。	A	10
B）子どもが、食材や調理をする人への感謝の気持ちが育つよう配慮していない。	B	1
	未回答	0

第５－４　健康及び安全（食育の推進）

評　価　項　目	評価	
食事の食べ具合などを、必要に応じて保護者に伝えていますか。	値	人数
A）食事の食べ具合などを、必要に応じて保護者に伝えている。	A	9
B）食事の食べ具合などを、必要に応じて保護者に伝えていない。	B	0
	未回答	2

第６　保護者に対する支援

評　価　項　目	評価	
送迎の際など、保護者と積極的に言葉を交わしていますか。	値	人数
A）送迎の際など、保護者と積極的に言葉を交わしている。	A	9
B）送迎の際など、保護者と積極的に言葉を交わしていない。	B	1
	未回答	1
送迎の際の会話や連絡帳を活用して、保育の内容や子どもの様子などを保護者に伝えていますか。		
A）送迎の際の会話や連絡帳を活用して、保育の内容や子どもの様子などを保護者に伝えている。	A	8
B）送迎の際の会話や連絡帳を活用して、保育の内容や子どもの様子などを保護者に伝えていない。	B	2
	未回答	1
保護者との交流の中で、子どもへの愛情と成長を喜ぶ気持ちを保護者と共有できるよう努めていますか。		
A）保護者との交流の中で、子どもへの愛情と成長を喜ぶ気持ちを保護者と共有できるよう努めている。	A	9
B）保護者との交流の中で、子どもへの愛情と成長を喜ぶ気持ちを保護者と共有できるよう努めていない。	B	1
	未回答	1
保護者が子育ての悩みなどを安心して話せる存在となれるよう努めていますか。		
A）保護者が子育ての悩みなどを安心して話せる存在となれるよう努めている。	A	9
B）保護者が子育ての悩みなどを安心して話せる存在となれるよう努めていない。	B	1
	未回答	1
保護者の子どもに対する虐待の早期発見に努めていますか。		
A）保護者の子どもに対する虐待の早期発見に努めている。	A	10
B）保護者の子どもに対する虐待の早期発見に努めていない。	B	0
	未回答	1
保護者に不適切な養育や虐待などが疑われる場合の対応について理解していますか。		
A）保護者に不適切な養育や虐待などが疑われる場合の対応について理解している。	A	10
B）保護者に不適切な養育や虐待などが疑われる場合の対応について理解していない。	B	0
	未回答	1

第７　職員の資質向上（職員の研修等）

評　価　項　目	評価	
自身の人間性や倫理観が子どもに影響を与えることを自覚していますか。	値	人数
A）自身の人間性や倫理観が子どもに影響を与えることを自覚している。	A	11
B）自身の人間性や倫理観が子どもに影響を与えることを自覚していない。	B	0
	未回答	0
園内で行われる研修や会議に積極的に参加していますか。		
A）園内で行われる研修や会議に積極的に参加している。	A	7
B）園内で行われる研修や会議に積極的に参加していない。	B	4
	未回答	0
園外で行われる研修に自発的に参加していますか。		
A）園外で行われる研修に自発的に参加している。	A	4
B）園外で行われる研修に自発的に参加していない。	B	7
	未回答	0
自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決に取り組んでいますか。		
A）自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決に取り組んでいる。	A	10
B）自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決に取り組んでいない。	B	1
	未回答	0
保育に関する専門書や関係書を読むなどして、保育に関する知識を習得するよう努めていますか。		
A）保育に関する専門書や関係書を読むなどして、保育に関する知識を習得するよう努めている。	A	8
B）保育に関する専門書や関係書を読むなどして、保育に関する知識を習得するよう努めていない。	B	3
	未回答	0

第７　職員の資質向上（職員の研修等）

評　価　項　目	評価	
自身の保育について、管理者からの意見や指導があった場合に、感情的にならず謙虚に受け止められますか。	値	人数
A）自身の保育について、管理者からの意見や指導があった場合に、感情的にならず謙虚に受け止められる。	A	11
B）自身の保育について、管理者からの意見や指導があった場合に、感情的にならず謙虚に受け止められない。	B	0
	未回答	0
職員会議などで決定した方針が、自身の意見と違うときも、それに従って気持ちよく協力していますか。		
A）職員会議などで決定した方針が、自身の意見と違うときも、それに従って気持ちよく協力している。	A	11
B）職員会議などで決定した方針が、自身の意見と違うときも、それに従って気持ちよく協力していない。	B	0
	未回答	0
保育所の自己評価の結果を公表するよう努めなければならないとされていることを理解していますか。		
A）保育所の自己評価の結果を公表するよう努めなければならないとされていることを理解している。	A	9
B）保育所の自己評価の結果を公表するよう努めなければならないとされていることを理解していない。	B	2
	未回答	0

〇保育実践における保育の気づきと振り返り

子どもたちの成長
個々に合わせた保育の重要性：
頭ごなしに話すのではなく、クールダウンの時間を設ける
一人ひとりの成長に合わせて、適切な声掛けや支援を行う

子どもたちの成長を感じるエピソード：
年始に挨拶できなかった子が、今では元気に挨拶できるようになった
お友達が泣いていると気遣い、声をかけたり慰めたりする
1歳児があいうえおや数字を全て覚えて言えるようになった
遊びを通して相手を思いやり、コミュニケーションの基礎を築いている
自身の成長

保育への理解とスキルアップ：
実践と保育士試験勉強の経験を通して、保育への理解を深めた
キッズの先生や保育園の先生から指導を受け、現場でのスキルを身につけた
研修に参加することで、発達支援に関する知識を学んだ

その他：
入社当初は何もわからなかったが、徐々に自分なりに考え行動できるようになった
0歳児の成長に、日々の積み重ねの大切さを実感した
一見不可解な言動にも、その子なりの理由や目的があることに気づいた

〇今後の課題と取り組み

1. 保育知識・スキルの向上
手遊び、わらべ歌などの習得:
積極的に研修や勉強会に参加し、レパートリーを増やす。
子どもたちの年齢や興味に合わせて取り入れる。
自ら創作活動にも挑戦する。

発達段階に応じた保育の実践:
各年齢層の子どもの発達段階を理解し、個々に合わせた保育計画を作成する。
遊びや活動を通して、興味や関心を引き出し、意欲的に取り組める環境を作る。
個々の成長に合わせて、適切なサポートや援助を行う。

2. 子どもとのコミュニケーション
子どもの話をじっくり聞く:
話を最後まで聞く姿勢を徹底し、思いを理解しようと努める。
質問や共感の言葉で、話を深掘りしていく。
安心を★

3. 子どもたちの主体性を育む
遊びや活動を通して、創造性を育む:
段ボールや洗濯バサミなど、身近な素材を使った遊びを取り入れる。
子どもたちが自由に想像力を働かせ、創造できる環境を作る。
問題解決能力や協調性を育む。
子どもの「やりたい」気持ちを大切にする:
尊重し、挑戦を促す。
自ら考え、行動できるよう、適切なサポートを行う。
成功体験を通して、自信を高める。

4. 安全管理の徹底
南海トラフ地震への備え:
避難訓練を定期的に実施する。
緊急時の対応マニュアルを確認し、理解を深める。
状況を常に把握し、適切な行動を取る。
子どもの安全を常に意識した保育:
保育環境を定期的に点検し、安全性を確保する。
事故や怪我を未然に防ぐ対策を講じる。
常に目を配る。

5. 専門性の向上
保育理念や会社理念の理解:
改めて学び、理解を深める。
保育実践に活かせるように、具体的な行動指針を定める。
子どもたちの健やかな成長に貢献できるよう、日々努力する。
保育士としての倫理観の涵養:
保育倫理に関する研修や勉強会に参加する。
子どもたちの権利や尊厳を尊重する姿勢を常に忘れない。
誠実かつ責任を持って、保育業務に取り組む。

6. チームワークの強化
調理員との連携強化:
情報共有を密にし、協力してより良い食事を提供する。
献立作成や調理過程において、意見交換や提案を行う。
チームワークを強化し、調理室全体の活性化に貢献する。
職員間での連携強化:
定期的なミーティングや研修を通して、連携を強化する。
子どもたちの情報共有を徹底し、個々のニーズに合わせた支援を行う。
チームとして協力し、より質の高い保育を提供する。

7. 保護者との連携
保護者とのコミュニケーション機会の増加:
朝夕の送迎時だけでなく、保育中の様子なども積極的に伝える。
個別面談の機会を増やし、子どもの成長について話し合う。
信頼関係を築き、共に子どもたちの成長を支える。
保護者との情報共有の徹底:
保育日誌や連絡帳を通して、子どもの様子を詳細に伝える。
イベントや行事に関する情報を事前に共有し、参加を促す。
連携を密にし、より良い保育環境を作る。

8. 年齢に応じたフォロー
来年度からキッズベアでの勤務が多くなることに備え、年齢に合わせたフォローを行う。
個々の発達段階や特性を理解し、適切な支援を行う。
年齢別の研修や勉強会に参加し、知識を深める。
経験豊富な保育士から指導を受ける。

9. 子どもたちの「やりたい」を大切にする
子どもたちの「やりたい」という気持ちを尊重し、挑戦を促す。
自ら考え、行動できるよう、適切なサポートを行う。
成功体験を通して、自信を高める。
0歳児には、年齢や発達段階に合った援助を行う。
子どもたちのサインを見逃さず、気付き適切な対応を図る。

〇今後の目標（園全体で話し合い、目標を決める）

1. 子どもたちの健康と安全を守る
体調管理の徹底:
子どもたちの体調を常に把握し、必要に応じて適切な対応を行う。
体調不良や怪我の兆候を見逃さず、速やかに先生や保護者に連絡する。
子どもたちの健康に関する知識を深め、適切な判断ができるように努める。
安全な環境づくり:
定期的に保育環境を点検し、安全性を確保する。
事故や怪我を未然に防ぐための対策を講じる。
常に子どもたちの安全を第一に考え、目を配る。
看護の質向上:
研修や勉強会に参加し、看護に関する知識と技術を向上させる。
他の保育士や看護師と連携し、より質の高い看護を提供する。
子どもたちの心身の健康をサポートできるよう、努める。

2. 子どもたちの主体性を育む
個々の成長に合わせた保育:
子どもたちの発達段階や個性に合わせて、適切な保育を行う。
個々の能力や興味関心を伸ばせるような環境を作る。
子どもたちの成長を記録し、保護者と共有する。
主体性を育む保育:
子どもたちが自分で考え、行動できるよう、促す。
遊びや活動を通して、創造性や問題解決能力を育む。
子どもたちの「やりたい」気持ちを尊重し、挑戦を応援する。
自分で考えたり調べたりして答えにたどり着こうとする過程そのものに対して、子ども自身が楽しいと思えたり有意義だと思えたりすることが出来るようなやり方・声のかけ方を構築していく:
子どもたちの質問には、答えをすぐに教えるのではなく、一緒に考える時間を設ける。
子どもたちが試行錯誤しながら答えを見つけることを、温かく見守る。
失敗しても諦めずに挑戦することを、励ます。
答えを見つけたときには、子どもたちの努力を認め、喜びを共有する。

3. 子どもたちにとって楽しい環境を作る
子どもの目線に立った保育:
子どもたちの目線に立って、物事を考える。
子どもたちの気持ちに寄り添い、共感する。
子どもたちにとって楽しいと思えるような環境を作る。
遊びや活動の充実:
子どもたちの興味や関心に合わせた遊びや活動を提供する。
遊びを通して、様々なことを学ぶことができるような環境を作る。
子どもたちが主体的に参加できるような遊びや活動を提供する。
子どもたちとのコミュニケーション:
子どもたちの話をよく聞き、理解しようと努める。
子どもたちの意見や考えを尊重する。
子どもたちとの信頼関係を築き、安心して過ごせる環境を作る。

4. 自己研鑽を続ける
保育に関する知識・スキルの向上:
研修や勉強会に参加し、保育に関する知識とスキルを向上させる。
書籍やインターネットなどを活用し、最新の保育情報を収集する。
他の保育士と情報交換や意見交換を行う。
保育技術の向上:
実践を通して、保育技術を磨き、より質の高い保育を提供できるように努める。
困難な状況にも冷静に対処できるよう、自己研鑽を続ける。
子どもたちの成長を最大限に引き出せるよう、努力する。
専門性の向上:
保育士としての専門性を高め、子どもたちのより良い成長に貢献できるよう努める。
保育理念や会社理念を理解し、実践に活かせるようにする。
保育倫理に関する意識を高め、子どもたちの権利や尊厳を尊重する。

この目標を達成するために、日々努力を重ねていきます。